

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立千寿本町小学校 校長 増田好範

1 学校教育目標

- ① つよく 心身ともに健康で勤労と責任を重んずる子供
- ② かしこく 自主的・意欲的に学習し創造性豊かな子供
- ③ あたたく 人間性豊かで人権を尊重する子供

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 読書に対する意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力の伸長を図る。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、読書への興味・関心を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10957 冊（蔵書基準冊数 7960 冊）／ 蔵 137.7%（元年度末 131.1%）									
	② 新規購入図書 513 冊 ／ 廃棄図書 384 冊 ／ 増減冊 129 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.8	0.7	9.0	7.8	11.6	4.5	2.0	6.3	3.4	52.9
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8：45～16：00									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 29.1 冊（前々年度末： 23.3 冊）									
	③ 1 か月に2冊以上読む児童 51.2%（前々年度末： 41.9%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 1 か月に2冊以上読む児童 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況		
① ② ③		

第2学年	① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 図書館利用についての振り返りを実施した学級100%
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑、新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 月1回以上、新聞を活用したスクラップやスピーチを行う。 ④ 調べる学習コンクール・新聞スクラップコンクールに参加する学年児童の割合が20%以上
目標達成状況	
① ② ③	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑、新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 月1回以上、新聞を活用したスクラップやスピーチを行う。 ④ 調べる学習コンクール・新聞スクラップコンクールに参加する学年児童の割合が20%以上
目標達成状況	
① ② ③	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月 1 回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり 20 冊以上の本を読む。 ③ 月 1 回以上、新聞を活用したスクラップやスピーチを行う。 ④ 調べる学習コンクール・新聞スクラップコンクールに参加する学年児童の割合が 30 % 以上

目標達成状況

- ①
②
③

第 6 学年

- ① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。
 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標

達成基準

- ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。
 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。
 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。

- ① 各クラス月 1 回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
 ② 読書週間等を利用して、年間一人あたり 20 冊以上の本を読む。
 ③ 月 1 回以上、新聞を活用したスクラップやスピーチを行う。
 ④ 調べる学習コンクール・新聞スクラップコンクールに参加する学年児童の割合が 30 % 以上

目標達成状況

- ①
②
③

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業は 1 か月を目途に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ③ 学年文庫の蔵書点検・入れ替えを年 2 回（8 月・12 月）行う。 ④ 3 年生以上の各学年オープンスペースと玄関ロビーに小学生新聞を置き、新聞を情報収集の有効な手段として活用できるようにする。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	

【その他】

- ① 年間4回実施する読書週間（なのはな、あじさい、くすのき、あわゆき）に、教員による全校お話バイキング、図書委員会による本の紹介集会、図書ボランティアによる読み聞かせなどを実施して、読書への意欲喚起を図る。
- ② 授業以外の返却・貸出については昼休みを基本とするが、学校図書館支援員の勤務日には放課後の返却・貸出もできるだけ可能とする。貸し出し冊数は一人2冊まで可とする。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**